



学校だより  
きたこいわ  
**北小岩**



ホームページアドレス <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/kitakoiwa-e/>

令和6年度

No. 4 (637号) 7月号  
令和6年 6月 28日発行  
江戸川区立北小岩小学校  
校長 藤島 寿晴

## 不審者対応訓練を通して思ったこと

今から23年前の6月、大阪府の大阪教育大学附属池田小学校に刃物を持った不審者が侵入し、1年男子児童1人および2年女子児童7人の児童8人を出刃包丁で刺殺したほか、児童13人および教職員2人に重軽傷を負わせた事件が発生しました。所謂、大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件です。この事件を契機に全国の学校・園で、これまで取り上げなかった「不審者侵入」についての対応訓練が行われるようになりました。また以前であれば、いつも保護者だけでなく地域の方々も自由に出入りができた門が施錠するようになったのもこの事件以降でした。北小岩小学校でも毎年「不審者対応訓練」を実施していて、管轄の小岩警察署生活安全課の警察官の方にお越しいただき、訓練の様子についてご指導をいただいています。今年度の訓練も6月中旬に実施しました。授業中に突然不審な人物が校内に侵入し、職員の間いかけに応じないため110番通報をし、その間各教室では侵入防止のバリケードを設置し、静かに確保の連絡を待つといった内容です。小岩警察署の方からは、「バリケードが素早く扉の前に作られ、しかも騒ぎ声どころか話し声もしなかったのが完璧でした。」とお褒めの言葉をいただきました。起こってほしくない出来事ですが、もしもの場合に今日と同じような行動が取れたら、子供たちや教職員の命が守られ、安全が確保できるのかもしれませんが、訓練後、子供たちには他の話をしたので、今回の巻頭言では別に伝えたかった内容を掲載します。自然災害同様、避難訓練は「自分の命は自分で守る」ことを最大の目的としています。学校は不審な人が勝手に入ってこれないように登校した後は門を閉めて鍵をかけています。ですが門を乗り越えてくることを防ぐ手立てはありません。では子供たち（教職員も含め）にすべきことはないのでしょか？絶対に大丈夫というものはないですが、実現可能で効果が期待できる方法が実はあります。それは、「校内で出会った（大）人には先に挨拶をする」「靴箱に入れる履物をきちんと整える」「みんなと行動を共にする」ことです。知らない人に挨拶すれば、相手が不審者なら不意を付けるでしょうし、不審者かどうか分かるかもしれません。長野市にある円福寺の住職だった藤本幸邦（ふじもとこうほう）さんがつくった「はきものをそろえる」という有名な詩に、「履物をそろえると心もそろう」というフレーズがあります。心がそろっているというのは、きちんとしている、しっかりしているということで不審な人は好まない環境です。そして、皆と共に行動することについては、説明は不要でしょう。

大切な命を預かる学校では、自然災害だけでなく予測不能なトラブルの際に、被害を最小限に抑え生き延びる術を学ぶ機会を、安全教育として設けています。挨拶や整頓、団体行動など躰でこれまでも幾度も指導を重ねてきた内容が、命を守る場面でも役に立つというお話です。



### 7月の目標

- ◎生活目標 . . . めあてを意識して生活しましょう
- ◎安全目標 . . . 安全に避難しましょう
- ◎保健目標 . . . 暑い時季を健康に過ごしましょう
- ◎給食目標 . . . 食事のマナーを守りましょう

